

取扱説明書

石こうボードへの取付

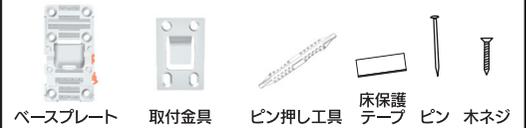
※木壁へ取付ける場合は市販の3.5皿ビスを使用して下さい。

詳しい取付動画はこのQRコードを読み取り再生して下さい。



要保管

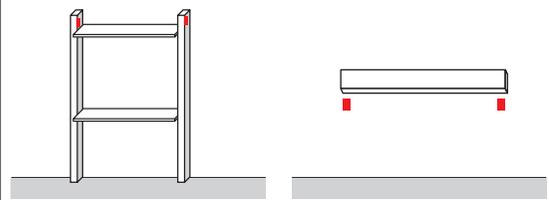
セット内容	材質・仕様
□ベースプレート 1個	POM (ポリアセタール) (ロックレバー1個 PP装着済)
□取付金具 1個	スチール
□ピン押し工具 1個	POM (ポリアセタール)
□ピン 15本	ステンレス * 5本予備含む
□木ネジ 4本	スチール
□床保護テープ 1枚	30×90mm
□取扱説明書 1枚	



下記の取り付けの場合、本品 **2セット** が必要です。

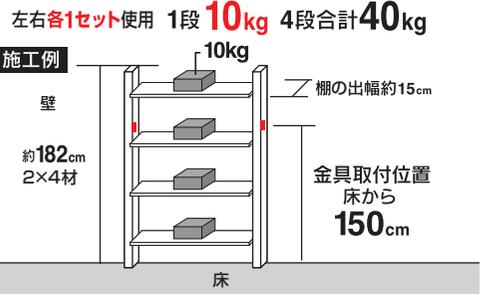
柱 2本を固定して棚を作る場合、柱の上方に金具を使います。

木材を横で使う場合、左右 2箇所金具を使います。

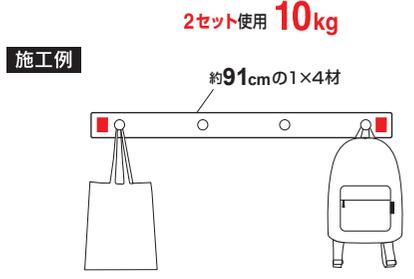


安全荷重目安 (付属のピンで固定した場合)

棚として使う場合



なげしに使う場合



※金具の取付位置、棚の出幅により荷重のかり方が異なります。

△ご注意 この説明書を正しく読みご使用下さい。

- ピン、及び仮止めピンの先端は尖っており、取り扱いには十分注意して下さい。
- ピンを使用する為、挿入跡が残ると困る場所には使用しないで下さい。
- 反りやねじれの少ない木材を使用して下さい。
- 柱を壁に取り付ける際、ベースプレートと取付金具がしっかりととはまった状態で仮固定して下さい。
※この時、柱が垂直になっている事も確認して下さい。柱が床に付いている事を重々確認して下さい。
(柱が床に付いていない場合、壁に負担がかかり破損の原因になります。)
- ※金具の取付位置、棚の出幅により荷重のかり方が異なります。
- 壁の強度に不安がある方は下地を設けビスにて固定して下さい。
- 室内環境により石こうボードが湿気を吸収し脆くなっている場合は金具の使用を控えて下さい。
- 取付後は定期的に強度の確認をお願いします。(金具の浮き等)
- 壁以外の場所では使わないで下さい。
- 水気の多い場所や直射日光が長時間当たる場所等、木材の劣化を促進させる場所には使用しないで下さい。
- 天災地変などその他不可抗力、経年劣化、分解、改造、誤った使用方法による故障、破損、事故などに対する補償等はいたしかねます。
- 誤ってぶつかる等、過度なショックが伝わった場合、破損の原因となります。
- 小さなお子様やペット等が触れる事のできる場所には取付しないで下さい。
- 壊れやすい物、骨董品、貴重品、目安荷重を超える重量物の使用は避けて下さい。
- 本製品のパッケージに書かれている目安荷重は最終製品の機能、性能、安全を保障するものではありません。
安全荷重はあくまで目安です。ご使用の際は必ず強度に問題がないか確認をお願いします。
- ハンマーなどを使う場合は重々、壁の破損及び周囲に人が居ないか確認して下さい。



施行方法 [木材を石こうボード壁に固定する]

01 木材に金具を取り付ける	02 ベースプレートを取付金具にセット	03 壁に仮固定
<p>下穴を空け取付金具をネジで固定します。</p> <p>※ 長穴からビス打ちすれば微調整可能です。</p> <p>2×4・2×6材の場合、せまい面に取付けます。</p> <p>長穴</p>	<p>①下から差し込み</p> <p>②側面のロックをかけます。</p> <p>※ 仮止めピンの保護スポンジを取ってください。</p> <p>ロックレバーは着脱可能であり施工場所の都合でロックが出来ない場合は、ロックレバーの付け替えをお願いします。</p> <p>①先端挿入 ②はめ込み</p> <p>ロックレバーの先端をベースプレートに差し込んでから付け替えを行って下さい。</p>	<p>①木材を床にしっかりと押さえつけ垂直を出す。</p> <p>※ 床にきちんと木材が着いていることを確認して下さい。</p> <p>△ 必要に応じ付属の床保護テープをお使い下さい。</p> <p>②壁に木材を押し当てて下さい。仮止めピンにより仮固定できます。</p> <p>※ 仮固定後、ロックを解除し木材を壁から外します。</p> <p>壁</p> <p>壁際ギリギリだとロック解除が出来ません</p>
<p>下穴を空け取付金具をネジで固定します。</p> <p>※ 長穴からビス打ちすれば微調整可能です。</p> <p>長穴</p>	<p>①下から差し込み</p> <p>②側面のロックをかけます。</p> <p>※ 仮止めピンの保護スポンジを取ってください。</p>	<p>①木材の上に水平器を置き、床と木材を平行にする。</p> <p>※ 金具位置決めの際、板から手を離さないで下さい。落下の原因となります。</p> <p>②壁に木材を押し当てて下さい。仮止めピンにより仮固定できます。</p> <p>※ 仮固定後、ロックを解除し木材を壁から外します。</p> <p>壁</p> <p>壁際ギリギリだとロック解除が出来ません</p>

縦に取り付ける(柱として使用)

横に取り付ける(なげしとして使用)

04 ベースプレートを壁に固定

ベースプレートを手で押さえながら、付属のピン押し工具を用い計 10本のピンを挿入します。

△ ピンの挿入が固い場合はハンマーなどを使い押し込んで下さい。

深い穴で少しだけピンを押し込み、浅い穴で最後まで押し込みます。

深い穴

浅い穴

壁の強度に不安がある場合は下地のある所にビスで固定して下さい。

05 ベースプレートに取付

①木材を上からスライドさせ戻します。

②木材が抜けないように側面のロックをして下さい。

※手で強く壁側に押し込んだ状態でロック操作を行って下さい。

06 取付確認

設置後、強度に問題がないか、よく確認して下さい。